

| | | | |
|-----|------------------|-------|-------|
| 科目名 | 社会学 Sociology | 科目コード | 40420 |
|-----|------------------|-------|-------|

| | |
|----------|--------------------------------|
| 学科名・学年 | 全学科・4年（プログラム1年） |
| 担当教員 | 米山 宗久（長岡大学） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・選択・1単位 |
| 開講時期・時間数 | 後期，30時間【内訳：講義30】 |
| 教科書 | 浅野智彦『考える力が身につく社会学入門』中経出版，2010年 |
| 補助教材 | DVD、プリント |
| 参考書 | 授業中に指示 |

【A. 科目の概要と関連性】

私たちを取り巻く「社会」とは、どのように成立しているのか。「社会的なもの」と「個人的なもの」はどのような関係にあるのか。私たちの生活している地域社会や家族を基本にコミュニティの視点と個人の視点で考察する。

また授業では、社会の位置づけ、人間関係、家族関係、地域社会の各領域の現状と課題を明らかにする。そのため、できるだけ発言の機会を設けるとともに、学習内容の理解を深めるために視聴覚教材も活用する。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 科目の到達目標 | 評価の重み | 学習・教育到達目標との関連 |
|--------------------------|-------|---------------|
| ① 社会現象や人間関係の関わりを理解する。 | 30% | (a1) |
| ② 家族の形成や必要性を理解する。 | 30% | (a1) |
| ③個人が社会に与える役割・その問題点を理解する。 | 40% | (a1) |

【C. 履修上の注意】

予習として、新聞記事やインターネットで事例を検索しておくこと。また、授業中にグループワークを行うことがある。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期レポート（100%）

【E. 授業計画・内容】

後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|------------|------------|
| 1 | 社会学のとは | |
| 2 | 個人・集団・社会 | |
| 3 | 私と社会との関係 | |
| 4 | 人間関係 | |
| 5 | 集団と地域社会 | |
| 6 | 家族社会（子育て） | |
| 7 | 家族社会（高齢者） | |
| 8 | 家族社会（障がい者） | |
| 9 | 自営業者と地域社会 | |
| 10 | 文化と地域社会 | |
| 11 | 学校と地域社会 | |
| 12 | 貧困社会 | |
| 13 | 虐待社会 | |
| 14 | 婚活社会 | |
| 15 | まとめ | |
| — | 定期レポート | 定期レポートにて評価 |